

5、6時限目：【自分を表現しよう】

英語によるスピーチ（所要時間 100 分）

《紹介文の一例》

The next speaker is **. She is very kind to me, only to me!! No, she is kind to everyone.

〔4〕授業実践を終えて

「～に気づいて欲しい」「～を伝えたい」から発する授業計画の楽しさを実感した。自分の体験を語りたいたい気持ちを抑えて、どのように生徒に考えさせるか、どんな気持ちを引き出したいかを考えることも、生徒から出てくる意見を聞く授業中も、ワクワクした。

受験を控える高校3年生を対象にすることもまた私にとっては挑戦であった。生徒たちに「この活動によって、（英語、または別の）力がついた」と実感させたかった。意識したことは、この授業だけで完結するのではなく、授業内での気づきをこれからもあらゆる場面で応用できるようにしたい、ということだった。「人との関わり」を喜びとし、「心から発せられる言葉」を使って国境を越えて欲しい。彼らならできると感じた時間だった。









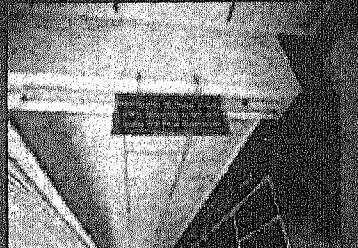




オバマ大統領みたいにたくさんの人の心に訴えることはできないけど、小さな当たり前のことでも実は大切に幸せなことを英語で伝え続けて行きたいです。（生徒の感想より）

〔5〕参考文献（引用文献・参考資料）









- 『WORLD STUDIES 学び方・教え方ハンドブック』
サイモン・フィッシャー、デイビッド・ヒックス 国際理解教育センター 1991

〔6〕 使用教材

【パワーポイント①】 (3 時限目使用)

<p>Rearrange the letters and write</p> <table border="0"> <tr> <td>① omterh</td> <td>① mother</td> </tr> <tr> <td>② rrimleg</td> <td>② triangle</td> </tr> <tr> <td>③ imet</td> <td>③ write</td> </tr> <tr> <td>④ ceapd</td> <td>④ pencil</td> </tr> <tr> <td>⑤ nnei</td> <td>⑤ nine</td> </tr> <tr> <td>⑥ nstce</td> <td>⑥ sister</td> </tr> </table>	① omterh	① mother	② rrimleg	② triangle	③ imet	③ write	④ ceapd	④ pencil	⑤ nnei	⑤ nine	⑥ nstce	⑥ sister	<p>Who draw the picture?</p> <p>A  B </p> <p>C  D </p>	   
① omterh	① mother													
② rrimleg	② triangle													
③ imet	③ write													
④ ceapd	④ pencil													
⑤ nnei	⑤ nine													
⑥ nstce	⑥ sister													
	   	<p>Look around you</p>												

【パワーポイント②】 (4 時限目使用)

<p>Where are you from?</p>  	<table border="0"> <tr><td>①</td><td>S</td></tr> <tr><td>②</td><td>S</td></tr> <tr><td>③</td><td>S</td></tr> <tr><td>④</td><td>S</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>S</td></tr> </table> 	①	S	②	S	③	S	④	S	⑤	S	
①	S											
②	S											
③	S											
④	S											
⑤	S											
<p>集合!</p>  												

学校・教員のための事業紹介

❁ JICA 地球ひろば訪問

<http://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>



* プログラム例 (120分) プログラム時間についてはご相談ください。

時間	内容/活動
40分	<ul style="list-style-type: none"> ・館内見学 ・探検シートをもとに館内を見学 ・展示物を通して世界の諸問題の現状を知る
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA や日本の国際協力、協力隊事業の説明 地球案内人とともに探検シートで情報共有を行い、国際協力についての理解を深める ・質疑応答
50分	<ul style="list-style-type: none"> ・現地体験談(青年海外協力隊等)またはワークショップ ・現地語を体験してみよう! ・現地での生活の体験談を聞いてみよう! ・子どもたちの生活について質問しよう!
10分	・アンケート記入

スペシャルオプション 「食を通して世界を知る」

異国情緒あふれる空間で途上国の珍しい料理を試してみませんか?手でカレーを味わうもよし、食材から世界とのつながりを実感するのもよし、食を通じて異文化にふれることができます。団体向けメニュー1500円～。

ご予約はカフェ・フロンティア (03-3400-5533) まで!

入館無料! プログラム参加は要予約
修学旅行や社会科見学等で、ぜひご利用ください!

* 申込手順

ホームページのカレンダーで受付状況を確認
→ 電話で申し込み → 申込書を FAX

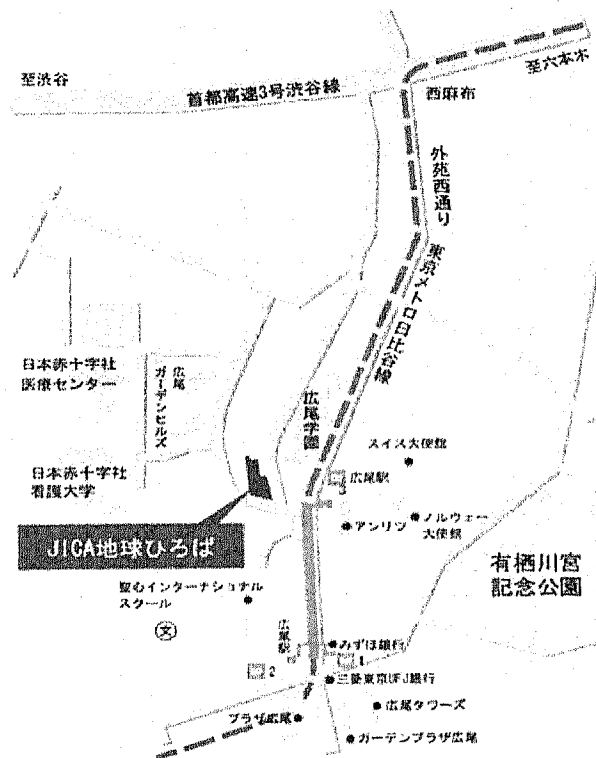
* 提出書類

・申込書 (1カ月前まで) ・質問リスト
・参加者リスト (2週間前まで)

問合せ・申込先

JICA 地球ひろば地球案内デスク

フリーダイヤル: 0120-767278
TEL: 03-3400-7278 FAX: 03-3400-7264
E-mail: chikyuhiroba@jica.go.jp
10:00-20:00 (火-金) 10:00-18:00 (土・日・祝日)
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24



【交通案内】東京メトロ日比谷線 広尾駅下車 (3番出口) 徒歩1分

学校・教員のための事業紹介

✿ JICA 国際協力出前座

http://www.jica.go.jp/hiroba/study/at_school/haken.html

開発途上国の実情を知り、日本との関係や、国際協力がなぜ必要なのかを考える機会として、開発途上国で活動してきた「青年海外協力隊」や「シニア海外ボランティア」経験者を講師として派遣するプログラムです。

学校を中心に、毎年全国で約 2,000 件以上実施され、20 万人以上が受講しています。

～各校のテーマに合わせた講座内容を組み立てます～

- ✿ 開発途上国の文化や生活を知る
- ✿ 開発途上国の暮らしから自分たちの生活を見つめる
- ✿ 国際協力を通じて自分の生き方を考える

命、人権、道徳、
奉仕、環境、食育、
スポーツ、進路…



講師の交通費・謝金（7千円目安）は依頼者様のご負担となります（詳細はお問合わせ下さい）

* 講座の実施例 —プログラム時間は 45 分からご相談に応じます—

対象	内容	協力隊赴任国・職種
小学校 6 年生 180 人	子ども達の遊び、歌を通しての異文化理解	ヨルダン（青少年活動）
中学校 2 年生 172 人	「命」の大切さ	マラウイ（エイズ対策）
中学校 全校生徒 410 人	児童労働・ストリートチルドレンの実態について	ネパール（野菜）
高校 1 年生 31 人	アフリカの人々の生活と自分たちにできること	ザンビア（理数科教師）
高校 全校生徒 240 人	環境教育を専門とする立場での国際協力について	チリ（環境教育）
大学生 35 人	JICA の仕事、ジェンダーと開発プロジェクト	ケニア（村落開発普及員）

* 先生の感想

- 講師が質問を投げかけたり、実際の現地の物を持ってきてくださったことで、生徒たちは皆関心を持って聞くことができた。「死」「命」の話は考えさせられることが多かったようだ。
- 実際に海外で活動された方の話は説得力があり、現地の映像を使った生の情報に生徒たちは引き込まれていた。
- 協力隊を身近に感じることができた。国際的な場で働く道を開ききっかけになればと思う。

* 子どもたちの感想

- 毎日笑って過ごせることが本当の「平和」なのかもしれないと思った。
- 生きたくても生きられない人がたくさんいるのだから、命は絶対無駄にしない。
- 勉強が嫌だと言ったり、自分のやりたいことだけやるのではなく、良い環境にいる私たちが勉強し、一人でも多くの人々が苦しまない方法を考え、助けるべきだと思った。

学校・教員のための事業紹介

✿ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

<http://www.jica.go.jp/hiroba/join/sanka/essay/index.html>

次世代を担う中・高校生を対象に、開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、自分たちがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的として実施しています。上位入賞者は、夏休みに研修旅行にご招待します。参加賞・各種賞も用意しています。ぜひご応募下さい！2009年度は、73,536人の応募がありました！



2009年7月マレーシア研修旅行

【中学生の部】

400字詰原稿用紙3枚以内

【高校生の部】

400字詰原稿用紙4枚以内

【募集期間】6月～9月中旬

【結果発表】12月下旬

平成21年度募集テーマ

《 行動 ～地球と私のためにできること～ 》

友だちや家族と話したこと、学校で習ったこと、本や新聞、テレビなどを通じて感じ考えたこと、自分の体験・発見から知って実行したこと、など。題材は自由です。

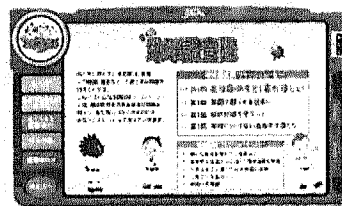
✿ 開発教育のための教材

<http://www.jica.go.jp/hiroba/educator/index.html>

* ホームページ「ぼくら地球調査隊」

水問題、砂漠化、人口増加、環境など地球規模の問題をアニメーションを使ってわかりやすく解説しています。

<http://www.jica.go.jp/kids/pages/index.html>



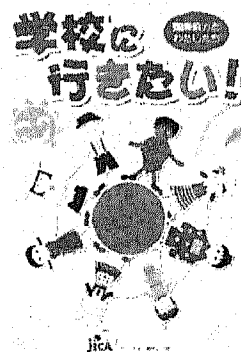
* 開発教育用教材「JICA フォトランゲージ・キット」

教師や NGO と共同で作成しました。途上国の風土や暮らしぶりを生き生きと表現した写真教材です。途上国の現状や課題について理解を深めるのにご利用いただいています。

- ▶ 本教材には、写真を使った6通りの授業案と7ヶ国のデータを収めた解説書が付いています)
- ▶ 写真 (A4版カラー35枚)、冊子 (解説書 A4版 20ページ)

* 「学校に行きたい！」

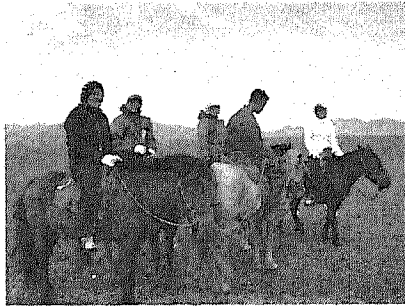
学校に行きたいけど行けない子どもたちの問題をわかりやすく説明しています。途上国、小学校での総合的な学習の時間などにおすすめです。全国の JICA 国内機関と JICA 地球ひろばで、無料でお配りしています。



学校・教員のための事業紹介

✿ 教師海外研修

<http://www.jica.go.jp/hiroba/study/other/kaigaikensyu/index.html>



国際理解教育および開発教育に興味のある学校の先生を対象に、国内研修実施後に、10日間ほど開発途上国で研修をおこなうプログラムです。帰国後、参加者は、研修で得られた経験をもとに、それぞれの教育現場において国際理解・開発教育に関する授業を実践し、その結果を授業実践報告書として公開させていただきます。

[平成21年度後援：文部科学省、外務省、各都県教育委員会]

- 【募集期間】 毎年4月～5月初旬
(全校に募集要項を送付します。)
- 【国内研修】 3回(6月に2回、海外研修出発日前日)
- 【海外研修】 8月(約10日間)
- 【帰国時研修】 8月下旬～9月(1日)
- 【授業実践報告会】 1月～2月
- 【その他】 報告書提出

～ 感想 ～

この研修の参加教員をはじめ、現地で活躍する日本人、JICA関係者、皆が意欲的で魅力的で輝いていた。出会ってよかった、参加して本当に良かった。
そして、国際理解、開発教育の奥深さを楽しみ感じ、私が教員になった理由の一つであった、人とコミュニケーションをとる楽しさも再発見できた。

✿ 開発教育指導者研修&各種セミナー

主に学校で国際理解教育を担当されている先生方を対象に、開発教育・国際理解教育の担い手の育成を目的とした研修を実施しています。教材の作成と活用方法、参加型学習の手法等を取り上げた実践的な研修を行っています。

詳しくはお近くの JICA デスクにお問い合わせください

<http://www.jica.go.jp/hiroba/madoguchi/index.html>

✿ 栃木県	(財) 栃木県国際交流協会内	028-621-0777
✿ 群馬県	(財) 群馬県観光国際協会内	027-243-7271
✿ 埼玉県	(財) 埼玉県国際交流協会内	048-833-2992
✿ 千葉県	千葉県国際交流センター内	043-297-0245
✿ 東京都 [23区]	JICA 地球ひろば	03-3400-7713
✿ 東京都 [23区以外]	八王子市役所市民活動推進部学園都市文化課内	042-620-7409
✿ 新潟県	(財) 新潟県国際交流協会内	025-290-5650
✿ 山梨県	山梨県国際交流センター内	055-228-5419

参加者氏名

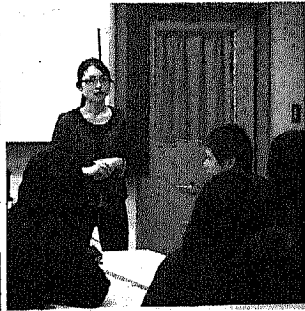
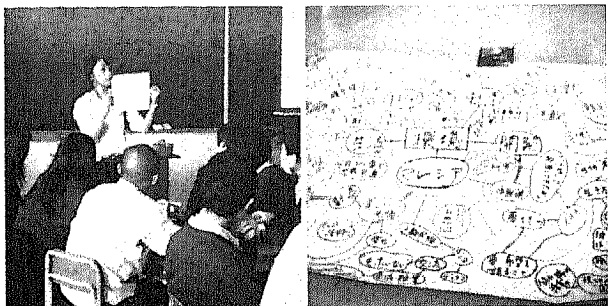
教員氏名	都県	学校名	授業実践 学年	授業実践教科
吉田 智和	千葉県	野田市立東部小学校	小1	学活
湯本 すみれ	新潟県	新潟市立桜が丘小学校	小1	学活、生活科
戸澤 篤子	群馬県	富岡市立一ノ宮小学校	小2	学活、道徳、音楽、朝の会
星 笑美子	栃木県	宇都宮市立昭和小学校	小5	総合的な学習の時間
加々美 浩子	山梨県	北杜市立高根清里小学校	小全	社会、理科、生活科
木原 信吾	群馬県	高崎市立矢中中学校	中1	総合的な学習の時間、道徳
星 聡美	栃木県	那須塩原市立箒根中学校	中2	学活、道徳
後藤 恭子	千葉県	千葉市立打瀬中学校	中2	英語、学活、道徳
坂寄 綾	栃木県	作新学院高等学校	高2	総合的な学習の時間
丸山 智恵子	新潟県	新潟市立万代高等学校	高3	英語

海外研修同行者より

雄大な自然と固有の動植物を有するボルネオ島、規律正しく植えられた油ヤシのプランテーション、高層ビル建ち地下鉄が走る大都会のクアラルンプール。街を歩けばマレー系・インド系・中華系と多様な民族や文化が息づくマレーシア。さまざまな顔を見せてくれたマレーシアでの研修では、先生たちから「出会い」「つながり」「共生・共存」の言葉を幾度となく耳にしました。訪問先で出会う現地の人々や青年海外協力隊員たちと交わされる会話の1つひとつに驚き、考え、悩み、感動し、共感し…。出会った人々の率直な想いに触れたり、先生たちの体験や気づきの共有を通して、それぞれの中に核となる体験が根を張って行った様に思います。

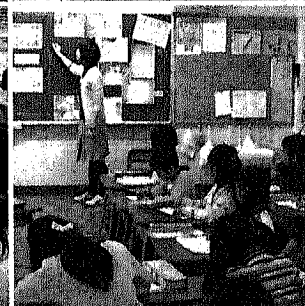
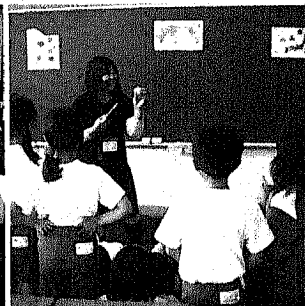
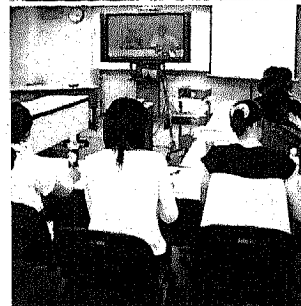
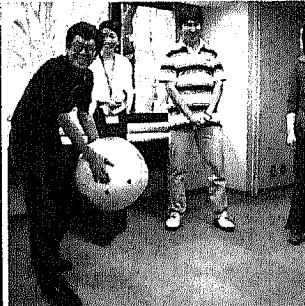
実体験はより心に響くもの。体験を伝えることを通して、子どもたちが広く世界に目を向けるだけでなく、身近にある地域や自分自身のことにも目を向ける機会を多く持てるようになってほしいと思います。それと共に研修に参加された先生方が、子どもたちと共にこれからも更に国際理解教育の可能性や楽しさを広げていってくださることを期待しています。

JICA 栃木デスク 国際協力推進員 知久 志穂子



平成21年度
教師海外研修
授業実践報告書集

栃木・群馬・千葉・
新潟・山梨県教員
【マレーシアコース】



独立行政法人 国際協力機構
JICA地球ひろば

〒150-0012
東京都渋谷区広尾4-2-24
Tel: 03-3400-7717
<http://www.jica.go.jp/hiroba/>